

競 技 注 意 事 項

- 1 本大会は2020年度日本陸上競技連盟規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。
※小学生の不正スタートについて
正式ルール（1回目のフライング失格）を適用しない。2回目のフライングは誰でも失格になる。
- 2 招集について
◇招集は、100mスタート地点後方の用器具庫前に設ける。
◇トラック競技は競技開始の20分前、フィールド競技は30分前に招集を完了する。
招集に遅れた者は競技に参加できないので注意する。
- 3 小学校のアスリートビブスは受付で渡す。（安全ピンは各団体で用意する）。大会終了後は番号順にそろえて必ず返却すること。
- 4 アスリートビブスは胸と背中に四すみを確実に止めておくこと。ただし、走高跳、走幅跳の競技者は背、または胸の片方だけでよい。
- 5 トラック競技の予選はタイムレースとし、決勝は8名（8チーム）で行う。ただし、1000分の1秒まで判定しても同記録の場合は抽選で決める。同組の場合は着順優先とする。
- 6 トラック競技は写真判定を使用する。そのため、腰ナンバー標識（1～8）を各校で用意する。ただし、800m、1500mについては主催者で準備し、招集の際に配布する。配布された腰ナンバー標識と安全ピンは競技終了後、直ちに競技者係に返納する。
- 7 リレー競技に出場するチームは、受付時に渡すリレーオーダー用紙を、招集完了1時間前までに招集所に1部（A4の用紙に2部記入したもの）を提出する。決勝についても同じとする。中学生決勝のリレーオーダー用紙は競技者係におく。
- 8 走幅跳は、審判長の指示により計測ラインを設けることもある。
- 9 小学生ハードルは次の設定とする。
3・4年生： 高さ60cm インターバル6m スタート～1台目まで12m ハードル数8台
5・6年生： 高さ68cm インターバル7m スタート～1台目まで12m ハードル数8台
- 10 サブトラックは、競技に支障のないようにグラウンドを利用してよい。ただし、フィールド内は遠慮すること。また、第一中学校のグラウンドは終日使用しないこと。
- 11 小学校の800m、1500mを除き、スパイクシューズを使用してもよい。但し、全天候型競技場につき、スパイクシューズのピンは9mm以下とする。走高跳は12mm以下とする。
- 12 競技中の傷害事故について救急処置はするが、その後の責任は負わない。各自・各学校で十分に注意すること。各団体で、保険に加入しておくこと。
- 13 各種目1位にはメダル、8位まで賞状を授与する。（小学校のリレーは決勝出場者全員に授与する）。該当者は、競技終了後、本部・表彰係まで受領にくること。1位の競技者のみ、スタンド正面で表彰を行う。
- 14 選手控え場所については、次のとおりとする。芝スタンドの柏崎高校側は中学校、アクアパーク側は小学校とする。スタンドの屋根のある部分は一般に開放するので、控え場所としないこと。屋根のない部分はテント設営可能とする。